

むらやま 議会だより



写真／大高根わんぱく道場
田植え体験にて

もくじ

- ◎ 6月定例会 補正予算、条例等…… P 2～3
- ◎ 村山市出資法人の経営状況報告…… P 4
- ◎ 一般質問…… P 5～7
- ◎ 議会活動レポート…… P 8～9
- ◎ 市民の声…… P 10



←携帯からはコチラ



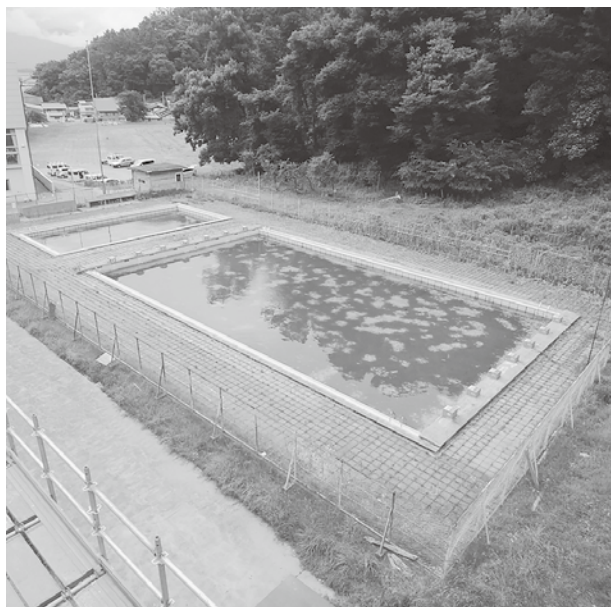
6月
定例会

万円を追加

令和元年第2回定例会は、5月30日から6月14日までの会期で開催され、条例12件、補正予算2件、その他の議案3件が原案のとおり可決しました。

補正予算のポイント

- 楯岡小学校プール改修工事に9千282万円**
プールが老朽化したため改修を行うもので、国から助成されました。
- 小中学校冷房設置整備に1千891万円**
西郷・戸沢小学校の校長室等のエアコン設置及び楯岡中学校の受電設備を整備するものです。
- クアハウス基点施設整備に2千913万円**
北側駐車場の舗装と1階トイレ改修をするものです。
- 農業振興事業等に965万円**
さくらんぼ雨よけテント及び省力さくらんぼハウスに助成するものです。



改修予定の楯岡小学校プール

条例等

- 村山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例**
地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関して必要な事項を定めるものです。
- 村山市森林環境譲与税基本条例**
森林環境譲与税を財源として基金を設置することにより、本市における森林整備及びその促進に資するものです。
- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例**
地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、関係条例について必要の改正を行うものです。
- 消費税及び地方消費税の税率引上げ等に関する条例**
消費税及び地方消費税の税率引上げに伴い、各施設等の使用に係る使用料等の改定及び水道料金等に係る消費税の改正等を行うものです。
- 村山市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例**
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、投票管理者等の報酬の改正を行うものです。
- 村山市市税条例等の一部を改正する条例**
地方税法の一部改正に伴い、必要の改正を行うものです。
- 村山市過疎地域固定資産税課税免除条例の一部を改正する条例**

一般会計予算

1億8,672

総額 128億672万円

○ 過疎地域自立促進特別措置法の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

◎ **村山市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例**

災害弔慰金の支給等に関する法律および同法律施行令の一部改正に伴い、貸付利率、償還方法等について所要の改正を行うものです。

◎ **村山市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例**

山形県医療給付事業補助金交付規定の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

◎ **村山市介護保険条例の一部を改正する条例**

介護保険法施行令の一部改正に伴い、低所得者に対する介護保険料の軽減措置について所要の改正を行うものです。

◎ **村山市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例**

地方公営企業法に基づき、人事評価制度の導入について所要の改正を行うものです。

◎ **村山市火災予防条例の一部を改正する条例**

不正競争防止法等の一部を改正する法律および住宅用防災機器の設置及び維持に関する基準を定める省令の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

人事案件

◎ **教育委員会委員の任命**
大内 敏彦氏(楯岡)

表彰

◎ **全国市議会議長会より議員表彰**

- ◆ 勤続15年表彰
川田 律子 議員
佐藤 昌昭 議員

審議結果報告

(6月定例会において賛否の分かれた議案について掲載しました)

議案の名称	議員名	議決結果	市政・公明クラブ						日本共産党 村山市議団	改革クラブ		無党派			賛成	反対	
			矢萩 浩次	高橋菜穂子	石澤 祐一	森 一弘	大山 正弘	茨木 久彌	海老名幸司	川田 律子	中里 芳之	犬飼 司	結城 正	菊池 貞好			佐藤 昌昭
市長提出議案 第38号 消費税等及び地方消費税の税率引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例について		可	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	議	8	6
第45号 村山市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について		可	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議	9	5

正副議長及び監査委員は党派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

○=可決 ○=賛成 ×=反対 議=議長

出資法人の経営状況報告

村山土地開発公社

平成30年度は、「スマイルタウン鶴ヶ町」と「榎岡北町グリーンタウン」について販売活動を行った。

その結果、「スマイルタウン鶴ヶ町」の残り15区画を完売し、全19区画の契約から登記手続きまで全て完了した。「榎岡北町グリーンタウン」については、年明けに1区画に申込み予約があり、年内に正式手続きを進めている。

今年度の損益計算書については、当期純利益1429万円となり、平成17年度以来の黒字決算となった。

(財)村山市余暇開発公社

平成29年度における過去最悪の経営状況を健全化させるため、クアハウス基点の大幅な経営改善と道の駅むらやまの利用拡大が求められる中、事業展開した。

○クアハウス基点

村山市民の大切な施設をお客様第一の基本姿勢で、抜本的な改革

○道の駅

むらやま

20周年記念イベント

を皮切りに、イベントを積極的に開催し、集客と売上増を

して地元客の取り込み

及びリピーターの獲得

も収めることができた。

さらに台東区「ふるさと交流ショップ台東」での出店を受託し、

特産品販売と観光PR

を行い特産品販売では、

予想以上の売上を計上

した。

なお30年末における

法人全体の正味財産期

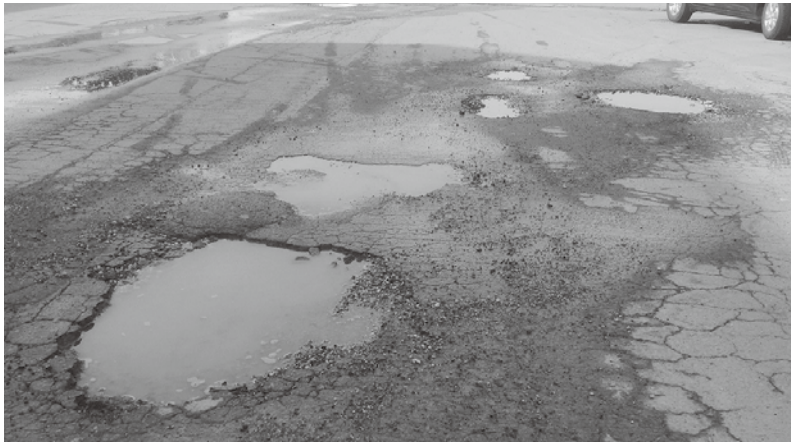
末残高は、3千30万

円で、昨年度より18

3万円の増となった。



スマイルタウン鶴ヶ町



SPA プール前の駐車場路面状況

平成30年度一般財団法人村山市余暇開発公社の当期純利益
(単位：円)

当期純利益会計区分	平成30年度	平成29年度	比較
法人の余暇開発事業	△472,000	△451,690	△20,310
クアハウス基点・健康づくり事業	△10,825,424	△35,887,190	25,061,766
道の駅むらやま	9,382,495	5,720,236	3,662,259

(財)村山市スポーツ協会
生涯スポーツの推進事業などのほか、指定管理者として体育施設

経営改善計画書を策定した。平成29年度に実施した中小企業診断士の経営診断に基づき入浴料金改定を実施した。

20周年記念イベントを皮切りに、イベントを積極的に開催し、集客と売上増を

管理運営にあたっている。自主事業として、石崎朔子氏、畠山愛理氏を迎え、新体操講演会及び実技講習会を開催した。また、アリーナ床改修工事に伴う35年間ありがとう感謝イベントも開催した。



新体操実技講習会



司 犬飼

無償化による保育士不足の影響は

答弁 市内の園間で融通性が利く

Q 10月からの保育料無償化に伴い、子どもを園に預けて働きに出てみようかと思う家庭の増加により園児の増加が予想される。また、他市の宅地造成が活発となっていることと労働条件、待遇の違いにより保育士が他市へ転職される懸念があるが、保育士不足が加速する心配はないか

A 足りなくなっても市内の園間で融通性が利くのでやりくりができる。

Q 保育施設の指導監査では浮かび上がらない労働環境の悪化、残業代未払いや待遇に関する相談を市が受けた場合の対応は。

A 問題があると思えば自分で調べ、各関係機関に相談に行くべきだ。しかし、市に相談があれば、関係機

関を紹介する。
Q 介護用品（おむつなど）の助成事業で、助成金額は同じとしてもマジックテープの肌着や寝巻と食事

エプロンを購入品目に追加できないか。
A 介護される側もする側も、非常に必要なものなので担当課で検討する。



笑顔が見たくて一生懸命な保育士

Q この20年間で河東地区の人口減少率は13%なのに対し、河西地区は30%であり人口減少が激しい状況にある。農村集落維持、存続のためには総合計画に位置付けてしっかりと行政対応をしていく必要があると考えるがどうか。

A 現在、総合計画の見直し期にあり、その中で考えていきたいと考えている。

Q 人口減少対策として河西地区にも中心地を形成していく必要があると考えているところだが、その一環として葉山中学校周辺に小規模な宅地造成を行うってはどうか。



司 海老名

農村集落維持・存続について

答弁 今後検討する

A 場所は葉山中学校周辺と言えるかどうか現段階では言えませんが、現在、出店計画

の話などもあり、これらと合わせて今後前向きに考えていきたいと思っています。



中心地形成が望まれる河西地区



川田 律子

補聴器購入に助成の考えは

答弁 様子を見てからの話と考える

Q 70歳以上の半数が難聴と言われている。言葉が聞こえにくくなると、認知機能が低下し、コミュニケーションにも支障が出て社会的に孤立することで、認知症のリスクが高まるとも言われる。難聴になったら、なるべく早い補聴器の使用が「聞こえ」の改善に大切である。近年、補聴器購入に助成する自治体が増えていますが、3点について伺う。①障がい者と認定されない老化による難聴者への補聴器購入に助成する考えは。②磁気ループの利用状況と高齢者が使用する会議室などへ設置する考えは。③新生児の聴覚検査を行っているが結果について。

A ①助成をすると補聴器を常時つける

義務が生じるのでは。様子を見てからの話と考える。②磁気ループの利用実績はない。今の貸し出しの方が使い勝手がいいのでは。定期的に利用する場所など今後検討させていただく。③先天的な障がい児はいない。



利活用が待たれる磁気ループ

Q 成人病予防は難聴予防ともあるが、40歳からの成人病健診に聴力検査はあるのか。なければ導入を。

A 本市の健診には入っていない。担当課とも話しながら、少し調べさせてほしい。



矢萩 浩次

子ども達に学ばせたい誇りある歴史教育を

答弁 ひとつの価値を押し付けることは出来ない

Q ふるさとを愛し、ふるさとのために尽くす人間となるため、若者を一度は外へと出し、経験を積み戻っていただきたい。世界の人々と対等に触れ合うためにも正しい歴史教育が大事であると思うが。

A 若者への期待には全面的に賛同する。広く世界から学んだ体験を通じ、歴史認識を身につけるきっかけが歴史教育と考える。

Q 「リーマンショック級」の金融危機・経済危機に備えた、本市の工業界への施策と対応について。

A 二人のコーディネーターを配し、企業の動向を把握している。若干の落ち込みはあるが現時点で業績は良好である。新たな顧客の開拓やビジネス

Q スマート農業の現在の課題、今後の対応と取り組みについて。



期待が高まるスマート農業。ロボットトラクター実演会



中里 芳之

国保税は高すぎる 子どもの均等割廃止を

答弁 今のところ考えていない

Q 教員の異常な長時間労働の根本的要因は、学校週五日制の実施、学習指導要領を上回る授業時数確保を求めたこと、「脱ゆとり」による標準時間の増、これらを教員増なしに行ったからだ。教育委員会の見解は。

A そのとおりだと思います。

Q 所得266万円、40歳代夫婦と子ども2人世帯の協会けんぽ（中小企業の労働者が加入）保険料は22万8千200円に対し、国保税は法定2割減額でも41万3千600円、子ども2人の均等割を全額免除しても36万5千500円。せめて子どもの分だけでも均等割をなくすべきだ。

A 今のところ考えていない。自営業者の所得と給与所得の概

念は違う。相当売り上げのある商売でも、自営業者は全部必要経費をダダダダつと引けるので所得0という人もいる。

Q 自衛官募集事務は法定事務だが、個人情報提供について

A 具体的に定めたものでも立法を経たものでもない。個人情報保護条例の「相当の理由」について市は説明できない。自衛官適齢者名簿提供をやめよ。義務でなくても国に応じる。



高橋 菜穂子

地域公共交通の見直しを

答弁 研究していきたい

Q 平成22年から27年の楯岡の人口減少率は2・6%で、楯岡においては宅地の整備と子育て政策の二つがある程度の効果をあげているものと考えられる。それに比べて、楯岡以外の地域においては、9・7%の減少である。河西地域にも、宅地の造成を考えてはどうか。

A 県道榊石基点線の拡幅工事と合わせて、考えたい。

Q 集落の中にある空き地が多い。空き家バンクには、空き地の登録も可能であるが現在までの実績はあるか。空き地の登録も促し情報を流すよう努力してみてはどうか。

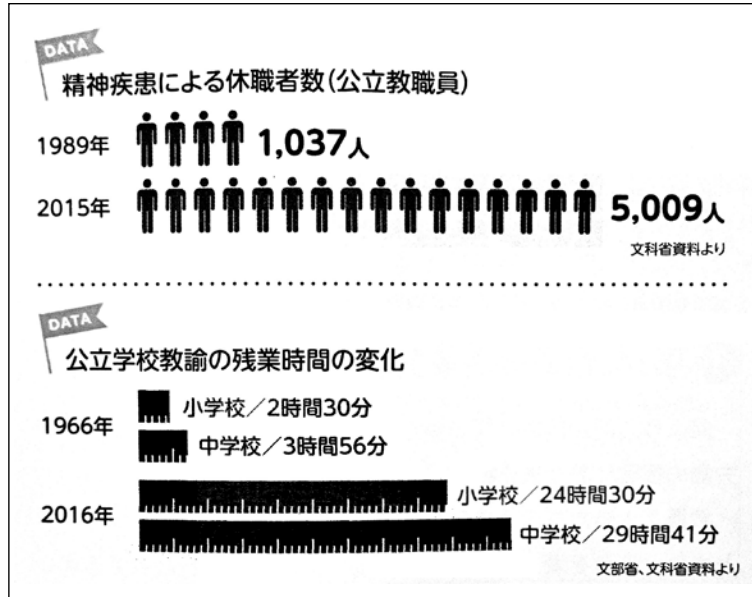
A 今後は、市民の友などでも周知して活用していきたい。



市内を走る市営バス

Q 高齢ドライバーによる事故が相次ぎ、免許返納の機運が高まっているが、本市においては車が無ければ生活の利便性を確保できず、地域公共交通が利用しやすいものでなければ免許の返納を躊躇する。地域公共交通を充実させるために、

A 路線の見直しや仕組みを再構築していただきたい。住んでいる地域によって受けられるサービスに違いがあるので、市民にとって分かりやすく、利用しやすいように検討していきたい。



教職員の長時間労働の実態

総務文教常任委員会
行政視察 5月14～16日

「村民の足」を考える

熊本地震の被害でかなりの影響がある中、熊本県南阿蘇村の「デマンド交通」について研修。村内全域を2地区に分け、ジャンボタクシーを2台購入し、1日8便の予約型としていきます。運転手は地元タクシー2社より派遣いただき、運行システムを導入し、予約受付2人を雇用、自宅または指定乗車場所に迎えにいき、降車は指定降車場所に限定していただきます。



南阿蘇村のデマンドタクシー

特色ある学校づくり

熊本市の小中一貫義務教育校として昨年4月に開校した「ウイングスクール」を研修。子ども達が「幸せな未来を築く力」をつけるための教育空間を「感性」「知性」「プロジェクト」の3つの教育活動を中心に行っています。



感性を育む課外活動

す。学校法人化に向けて準備中。入学者は兵庫県や福岡県から毎日新幹線通学の生徒もいます。全校生徒64名に対して、先生は校長含め8名、調理師1名、養護教諭1名、事務職1名の11名です。オーガニック給食を生徒や先生達と一緒にいただきました。

交通弱者対策

和歌山県みなべ町は日本一のブランド「南高梅」が有名です。紀伊半島の西南部に位置し、高齢化が進んでいます。研修は「デマンド交通」で、交通弱者の利便性向上を図るため実施していました。運行ルートは4ルートとし、運行日は各ルート週3～5日、運行時間は8時～18時、運行本数は3～6本。車両はジャンボタクシーと5人乗りタクシーを使用し高齢者を中心に買物や通院への利用がされています。



運行ルートを走るみなべコミュニティバス

産業厚生常任委員会
行政視察 5月8～10日

お見合い大作戦

佐賀県武雄市役所には、「お結び課」という結婚相談所を専門に扱う課があります。登録費用や紹介料は一切払わずに、お見合いや婚活イベントに参加できます。お見合いは月10回余り、イベントは、年20回余り行っており、過去10年間の実績は、会員同士の結婚21組42人、会員外との結婚は119人となっていました。結婚相談とは違い、年収や年齢を分けずに受け入れている分、互いの要望を叶えるのは大変なことです。



武雄市の「お結び課」

命をいただく

全国の鳥獣被害ランキングは、1位が北海道、2位が福岡県となっています。福岡県はイノシシの被害が大きいですが、アライグマやアナグマによるいちごの「甘王」被害も確認されています。捕獲実績は、平成26年ベースでイノシシ2万5千頭、シカが1万3千頭に上ります。



ジビエ(イノシシ)

福岡県糸島市の「㈱糸島ジビエ研究所」では、個体を余すところなく活用していました。肉は食用として、骨はペットフードや出汁の材料に、毛皮はなめしに出してレザーとして使い、たてがみはヘアブラシ、内臓は肥料に活用しています。産業廃棄物に出すものはほとんどありません。

子どもの居場所作り

佐賀県神埼市では、「放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体化」を行っています。放課後子ども教室は、大学や専門家の講師、ボランティア、保護者の協力をいただき月2回学習やスポーツ・文化芸術活動の機会を提供しています。

放課後児童クラブは、学童保育と同じ活動。放課後に適切な遊びや生活の場を与えています。一体化とは、この二つを平日に同じ小学校敷地内で実施し、移動が安全に行えるように父兄の心配を減らし、子どもの安全・安心な放課後活動を見守っています。



神埼市での研修

議会活動

- 4月
- 1日 議会だより編集委員会
- 3日 議会だより編集委員会
- 4日 東北市議会議長会定期総会
- 7日 小学校入学式
- 8日 中学校入学式、村山産業高校入学式
- 11日 村山市ゲートボール協会総会
- 12日 村山市行政委員会議
- 13日 村山市連合婦人会総会
- 14日 村山市防災訓練
- 16日 山形県縦断駅伝北村山チーム結団式
- 17日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 19日 全員協議会
市民体育館床更新完成視察
村山市身体障害者福祉協会総会
関西村山会
- 20日 村山市老人クラブ連合会との意見交換会
- 23日 村山市機械工業振興会懇親会
- 24日 村山市統計調査員協議会総会及び懇談会
- 25日 村山市自衛隊家族会総会
- 27日 村山市消防大演習
- 28日 山形県縦断駅伝北村山チーム解団式
- 5月
- 8日 産業厚生常任委員会行政視察（～10日）
- 9日 総務文教常任委員会協議会
- 13日 議会運営委員会協議会
- 14日 総務文教常任委員会行政視察（～16日）
- 15日 石川県羽咋市総務民生常任委員会行政視察
村山市商工会通常総代会
- 16日 産業厚生常任委員会協議会
村山市民生委員児童委員協議会総会
村山市芸術文化協議会総会
総務文教常任委員会協議会
- 20日 議会運営委員会協議会
- 21日 全員協議会
- 22日 村山市小学校陸上競技大会
山口県光市常任委員会行政視察来市
村山地区防犯協会連合会総会
- 24日 議会運営委員会、議会だより編集委員会
- 25日 山形交響楽団村山定期演奏会
- 28日 産業厚生常任委員会協議会
- 29日 山形県市議会議長会定期総会
- 30日 全員協議会、本会議
- 31日 バラまつりオープニングセレモニー
徳内ばやし振興会通常総代会懇親会
- 6月
- 3日 一般質問（～4日）
- 5日 会派代表者会議
- 6日 常任委員会
- 8日 石崎朔子氏講演会、畠山愛理氏実技講習会
- 10日 全国温泉所在都市議会議長協議会総会
- 11日 全国市議会議長会定期総会
- 13日 常任委員長会、議会運営委員会
- 14日 全員協議会、本会議
- 17日 議会だより編集委員会
- 21日 議会だより編集委員会
- 23日 全国各流居合道さくらんぼ大会
- 25日 県知事要望
北村山地域振興局要望
森林・林業・林産業活性化促進議員連盟
連絡協議会総会
- 26日 会派代表者会議、議会だより編集委員会
- 27日 改革クラブ視察研修（～28日）

平成30年度政務活動費収支報告

会派名	交付額(円)	執行額(円)	残額(円)
市政・公明クラブ (9人)	1,080,000	860,523	219,477
改革クラブ (4人→3人)	460,000	336,192	123,808
日本共産党村山市議団 (2人)	240,000	175,227	64,773
佐藤昌昭議員 (無会派)	120,000	0	120,000
合計	1,900,000	1,371,942	528,058

※年度内に改革クラブで議員数の変動がありました。
※議長、副議長は無会派ですが、市政公明クラブと政務活動を行っております。

提言書を提出
6月19日

北村山広域議会
三市一町の広域議会のあり方を検討し、事業・課題などについて議論を重ねてきました。今回4つの事業について提言をまとめ、管理者である村山市長へ6月19日に提出しました。提言した内容は以下です。

1. 消防業務について
2. 公認グラウンドの整備について
3. 広域観光について
4. 有害鳥獣対策について

副市長、商工観光課、議長とともに議員1名が派遣され、関西村山会総会へ出席しました。
4月20日

関西村山会
河島出身の工藤会長、樽石出身の松田事務局長や会員の皆さんと懇談しました。村山から遠く離れてもふるさとを思う気持ちを持っておられ、話に花が咲きました。村山市の人口は減っていますが、多くの方が全国に出られたというところは財産であることとらえることもできます。今後の地方



創生、関係人口の増加へ向けては貴重な存在であると感じました。

議会運営委員会
4月17日付で正副委員長が交代になりました。
委員長 海老名幸司
副委員長 石澤 祐一

表彰
◎東北都市監査委員会表彰
（勤続5年以上）
佐藤 昌昭 議員
◎山形県都市監査委員会表彰
（勤続5年以上）
佐藤 昌昭 議員

市民の声 & 表紙について

大高根わんぱく道場は、放課後子ども教室として、地域のみなさんが2カ月に1回程度開催しています。6月8日は、田んぼの学校として田植え体験が行われ、14名の子どもたちが参加しました。秋には、子どもたちが収穫をします。

当日は、東北芸術工科大学の学生さん5名が加わり賑やかになり、次回はじゅんさい採りにも参加するそうです。



大高根わんぱく道場
道場長
阿部 厚志 さん

——子どもたちへ伝えたい——
わんぱく道場の活動を通して、地域の子どもたちには、大高根の良さを伝えたいと思っています。

——経験をプレゼント——
「農」に触れる機会が減っていくのですが、たくさんの方の経験をさせてあげたいです。それはきつと、思い出となり、地域愛を育むと思っています。



西山 ^{ゆうき} 雄輝さん (6年生)
将来の夢☆保育士 大高根の好き♡自然がいっぱい
田植え、とても楽しかった。泥は温かく、気持ちよかった。



大田 ^{そうま} 蒼真さん (5年生)
将来の夢☆消防士 大高根の好き♡食べ物がおいしい
いろんなことができて良かった。土はむにむにゆして好きだった。



東北芸術工科大学
デザイン工学部4年
KOMEBU代表
福田 実理さん

山形の方は、「山形は何もない」とおっしゃることがありますが、他県から来た私から見ると、食べ物はいよいよ景色が良くて「全部ある」と感じます。『コメブ』の活動で、山形の魅力を山形のみなさんに伝えていきたいと思っています。



芸工大KOMEBUのみなさん

あとがき

6月議会前半は、村山さつき会の井澤久仁様よりお借りした見事なさつきを飾りました。お陰で、肅然とした空気の中で議論を行うことができました。また、最終日は東沢バラ公園のバラが飾られ、良い香りに包まれました。市民のみな様、どうぞお気軽に傍聴にいらして下さい。(高橋)

委員長 秋葉 新一
副委員長 川田 律子
委員 結城 正
石澤 祐一
高橋菜穂子
矢萩 浩次
犬飼 司

